



平成 29 年度は「第五次羽村市長期総合計画」の後期 5 か年がスタートする年であり、前期 5 か年の成果を礎として、市の将来像の実現に向け、計画に掲げた事業を着実に実行していく必要があります。

このため、長期総合計画後期基本計画に掲げた事業については、積極的に予算化を図りました。

一般会計の予算規模は、羽村駅自由通路拡幅等事業をはじめとした投資的経費、私立保育園保育委託料などの扶助費や羽村駅西口土地地区画整理事業会計への繰出金の増額などにより、過去最大となる 226 億 600 0 万円（前年度比 7 億 400 0 0 万円（3.4%）増）となります。

第五次羽村市長期総合計画に定める市の将来像
「ひとが輝きみんなでつくる
安心と活力のまちはむら」を目指して

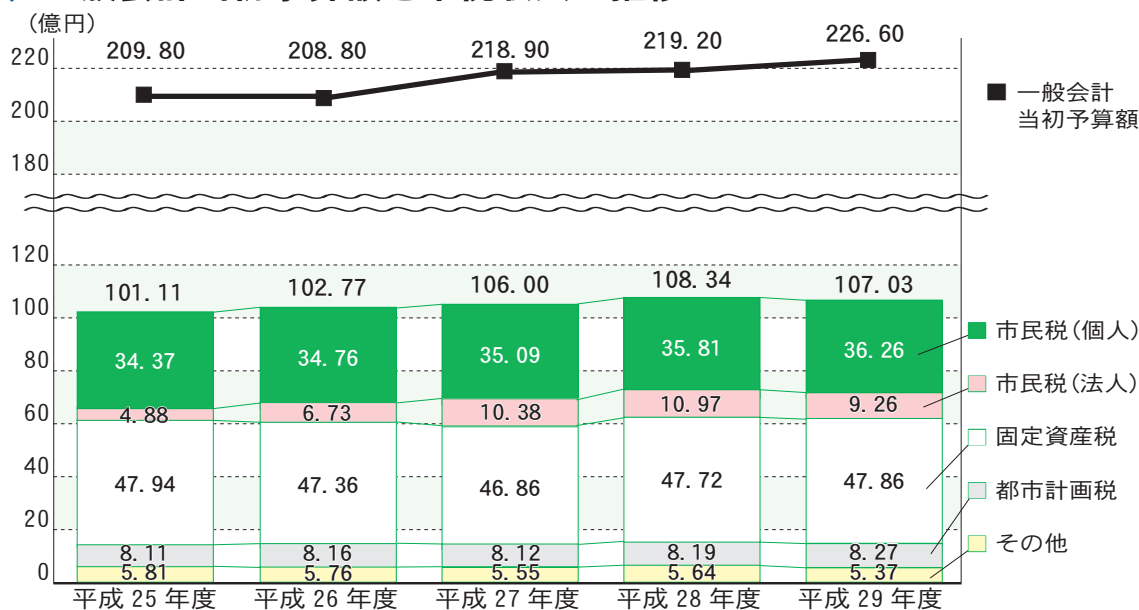
◆ 平成 29 年度予算～各会計の内訳と前年度との比較～

（単位：千円）

区 分		平成 29 年度 (当初)	平成 28 年度 (当初)	増減額	増減率
一 般 会 計		22,660,000	21,920,000	740,000	3.4%
特 別 会 計	国民健康保険事業	7,265,800	7,266,500	▲ 700	▲ 0.01%
	後期高齢者医療	1,087,800	1,019,600	68,200	6.7%
	介護保険事業	3,551,000	3,233,500	317,500	9.8%
	羽村駅西口 土地地区画整理事業	1,001,700	1,401,800	▲ 400,100	▲ 28.5%
	下水道事業	1,206,800	1,243,800	▲ 37,000	▲ 3.0%
	特別会計合計	14,113,100	14,165,200	▲ 52,100	▲ 0.4%
水道事業会計		1,548,876	1,482,407	66,469	4.5%
合 計		38,321,976	37,567,607	754,369	2.0%

※水道事業会計は、「収益的支出」と「資本的支出」を合計し、予算額としています。

◆ 一般会計当初予算額と市税収入の推移



※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

一般会計

226 億 6000 万円（前年度比 3.4% 増）

◆ 財源補完の状況

年度間の財源調整や後期基本計画に掲げる事業を着実に実行していくために必要な財源として、財政調整基金からの繰入金や市債の活用を図ります。

（単位：千円）

	平成 29 年度（当初）	平成 28 年度（当初）	増減額	増減率
財政調整基金 （繰入額）	852,056	1,031,836	▲ 179,780	▲ 17.4%
市債（借入額）	462,000	244,000	218,000	89.3%

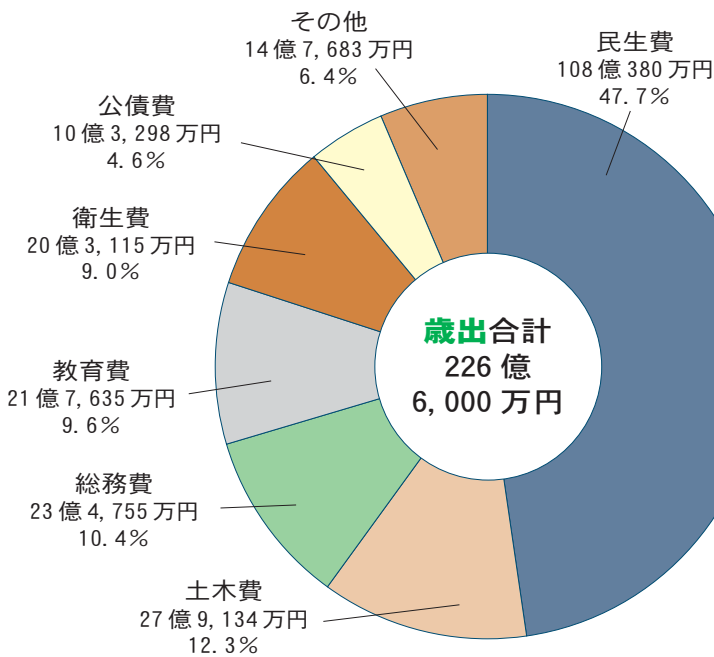
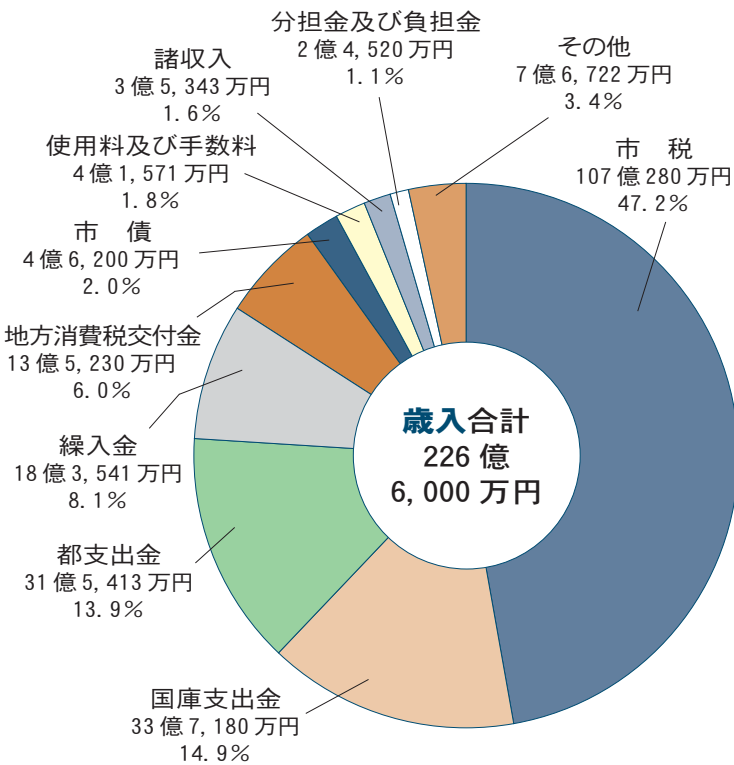
歳入の内訳

歳入の根幹となる市税収入は107億280万円で、前年度と比較し1.2%の減で、5年ぶりの減少となりました。

市民税個人分は、賃上げ効果や雇用情勢の改善に伴う納税義務者の増加などにより、前年度と比較し1.3%増の36億2647万円とし、法人分は、昨年年明けからの円高基調を背景に輸出関連企業を中心に収益環境が厳しい状況にあること、また、法人税実効税率の引き下げの影響などにより、前年

度と比較し15.6%減の9億2638万円を計上しました。

固定資産税は、家屋分の新増築による増などを見込み、全体では前年度と比較し0.3%増の47億8570万円となりました。そのほか、国・都補助金などの財源の確保を積極的に図りました。



歳出の内訳

民生費では、私立保育園保育委託料、障害福祉サービス費、生活保護費や私立保育園施設整備費補助金などを計上しました。

土木費では、羽村駅西口土地区画整理事業会計繰出金、羽村駅自由通路拡幅施工委託料、加美緑地公園用地購入費、動物公園改修工事費などを計上しました。

総務費では、緑地保全用地購入費、情報セキュリティ機器等使用料、コンビニ交付システム構築委託料などを計上しました。

教育費では、スポーツセンターエレベーター改修工事費、羽村第一中学校防音機能復旧(機器取替)工事設計業務委託料などを計上しました。

行財政改革への取り組み

「第五次羽村市長期総合計画後期基本計画」に掲げた事業を着実に実行していくためには、強固な財政基盤を構築する必要があることから、平成29年度予算において、経常的経費の縮減などに努めました。また、予算の執行にあたっては、さらなる歳入の確保や経常的経費の抑制を図っていきます。